資料２

第４回検討会の主な意見

第４回検討会の主な意見

- 第４回検討会での委員の主な意見は、以下のとおりである。

主な意見
• 航空保安施設や気象レーダーなどの航空技術は、空の安全確保に寄与することから、その発展動向を注視し、更新を検討していくと良い。また、エプロンなどの施設配置を見直すことにより、空港の運用をより効率的に行うことができるのではないか。このことは、将来的に新たなテクノロジーが出てきた際にも、その空間を柔軟に活用できる余地が生まれると考える。
• 航空技術の発展が多摩地域の振興にどのように貢献するか、その繋がりを整理すると良い。
• 地域の方たちに親しまれる施設を目指すことは、地域の理解を得る上で非常に重要かと思う。親しまれる施設の例として、多摩地域や島しょ地域の物産を取り扱う施設などが挙げられる。
• 空港は、災害時に救援物資などの受入れを行うため、災害時の体制をいかに確保するかが重要と考える。非常用電源は確保されているが、さらにそのバックアップとして再生可能エネルギーの活用も考えていくと良い。
• 再生可能エネルギーや観光、航空テクノロジーといった産業の視点を取り入れていくことも飛行場周辺地域の活性化の観点から必要ではないか。
• 飛行場のあり方に加えて、その実現に必要な対応策と実施主体を記載すると良い。